allcinema

カルメン（1954）

CARMEN JONES

メディア 映画
ジャンル ミュージカル
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 120分
初公開日 1960/04/09
公開情報 ＦＯＸ

【解説】

ビゼー作曲の『カルメン』に、Ｏ・ハマースタイン二世が現代風の詩をつけた、オール黒人キャストのブロードウェイ・ミュージカルの映画化で、プレミンジャーらしい野心的な企画だが、案外に底が浅い。楽曲も唄い手によっては少しジャズがかるものもあるが、応々にして原曲に忠実で面白味がない（従って、せっかくベラフォンテ、ダンドリッジと名シンガーを主役に配しながら、その唄声はほとんど吹替えである！）。ドン＝ホセはここではジョーとなり、軍需工場付のＧＩでシンディ＝ルーという恋人がいるが、騒動を起こして護送途中のカルメンの魔性の虜になってしまう。立ち寄った彼女の家の祖母は霊媒師で、彼らの運命の暗雲を予告。案の定、金に困って友人のキャバレーを訪れたカルメンは、ボクシングのチャンプ、ハスキー・ミラーに見初められ、彼らのシカゴ興行についていき、後を追ったジョーを軽くあしらって、盲執に首を絞められ殺されてしまう。ジョーがカルメンの足の爪にペディキュアを塗って口で吹いて乾かすところなど、かなり露骨な黒人の性的アピールへの突っ込みが全篇に支配的で、その点興味深いが（ダンドリッジにはいわく言い難い官能性がある）、作品の骨子は脆弱。ソウル・バス、デザインの一輪のバラが炎をバックに咲くタイトルは大変美しい。

【クレジット】

監督	オットー・プレミンジャー	Otto Preminger
製作	オットー・プレミンジャー	Otto Preminger
原作	オスカー・ハマースタイン二世	Oscar Hammerstein II
脚本	ハリー・クライナー	Harry Kleiner
撮影	サム・リーヴィット	Sam Leavitt
音楽監督	ハーシェル・バーク・ギルバート	Herschel Burke Gilbert
作詞作曲	オスカー・ハマースタイン二世	Oscar Hammerstein II
タイトルデザイン	ソウル・バス	Saul Bass
出演	ドロシー・ダンドリッジ	Dorothy Dandridge
	ハリー・ベラフォンテ	Harry Belafonte
	パール・ベイリー	Pearl Bailey
	ダイアン・キャロル	Diahann Carroll
	ロイ・グレン	Roy E. Glenn, Sr.

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.